

(株) ダンレイ 環境行動計画

平成20年5月23日

1 取組方針

株式会社ダンレイは、『家族的雰囲気の中で技術職人を育む』ことをモットーに、顧客及びニーズにあった給排水衛生・空調・換気設備工事の設計、施工、監理をしています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、地球環境に及ぼす影響を最小限にとどめるために社会と調和を図りながら、以下の取組を社員一丸となって以下の行動に取り組みます。

- ① 事業活動での購入電力・燃料・自動車燃料エネルギーの削減
- ② 事業活動での紙使用量の節減
- ③ 廃棄物の削減とリサイクル増進の実施
- ④ 事業所及び現場での整理・整頓・清掃・清潔の徹底

この方針に基づいて社員全員が高い環境意識をもち、環境活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び取組内容の教育を実施します。

平成20年 5月23日

株式会社 ダンレイ

代表取締役 道口 政昭

4 環境負荷の取組目標と取組項目

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための目標を設け、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と取組項目は、以下の通りです。

<p>目標一1</p>	<p>二酸化炭素の総排出量を、平成20年を基準として平成22年までに37,000kg-CO₂（平成20年の3%削減）に削減する</p>
<p>具体的な取組</p>	<p>（事務所及び現場での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 事務所の空調温度を適正に設定する（冷房時28度・暖房時20度） ② エアコンの使用期間中は、毎月1回フィルターを清掃する ③ エアコンを使用しない期間は、動力ブレーカーを切る ④ 昼休みと休憩時には、使用していない機械の電源・消灯を徹底する ⑤ パソコン・コピー機の節電機能を活用する ⑥ 休日前には、パソコン・コピー機のコンセントを抜いておく ⑦ 社用車の効率的な使用（運転経路・相乗り）を徹底する ⑧ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける ⑨ 車両の点検を定期的に行う ⑩ 車両の空調温度を適正温度に設定する ⑪ 作業効率の改善により残業時間を少なくするよう徹底する
<p>目標一2</p>	<p>産業廃棄物の排出量を、平成20年を基準として平成22年までに52トン（平成20年の2%削減）に削減する</p>
<p>具体的な取組</p>	<p>（事務所及び現場での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 廃棄物は分別仕様を再検討し、汚泥・がれき類・木くず・紙くず・金属くず・廃プラスチック・アスファルトガラ・コンクリートガラに細かく分別して出す ② 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する ③ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する ④ 軍手・ウエスは使用限度を定め、無駄に廃棄しない ⑤ 材料納入にはできるだけ通い箱を使用する ⑥ 使用済みの段ボールを分別する ⑦ 再利用可能な材料・部品は、無駄に廃棄しない

目標一3	コピー用紙の使用量を、平成20年を基準として平成22年までに82kg（平成20年の2%削減）に削減する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 作成した資料は、パソコン画面上での確認を徹底する ② 両面コピー、縮小コピー、裏紙利用を徹底する ③ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定を確認する ④ 電子メディアの利用によってペーパーレス化を推進する

目標一4	その他の取組を推進する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 使用するOA機器・事務用品・作業服などは、グリーン製品から選択する ② 毎月全社員による現場総点検を行い、整理・整頓・清掃・清潔を徹底する ③ 名刺・カタログ・封筒には再生紙と大豆油インクを使用し表示する ④ 毎月2回会社周辺の地域清掃を実施する ⑤ 会社周辺の緑化と環境整備に努める

5 環境行動計画の実施体制

環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、三ヶ月ごとに取組方針、取組目標及び取組内容の教育を実施し、従業員全員で実施状況をチェックし一人一人が自覚を持って実行します。